

川越市男女共同参画に関する意識調査  
報 告 書

令和5年12月

川 越 市



## はじめに

本市では、男女共同参画を総合的・計画的に推進するため、平成13年12月に「川越市男女共同参画推進条例」を制定し、あらゆる分野において、男女共同参画社会の実現に向け取り組んでおります。

今日では、就業率の上昇等、女性の社会進出が進みつつありますが、雇用形態や賃金格差といった課題は依然として残っています。

また、豊かで活力ある社会を築くためには、誰もがその人権を尊重され、様々な分野で性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現が一層求められています。

こうした中、令和3年3月には「川越市男女共同参画推進条例」に基づき、「第六次川越市男女共同参画基本計画」を策定し、社会経済情勢の変化から生じた新たな課題に的確に対応し、男女共同参画の施策を総合的かつ計画的に推進してまいりました。

本調査は、市民の皆様の男女共同参画についての意識や生活実態を把握し、新たな課題を明確にすることにより、「第七次川越市男女共同参画基本計画」策定の基礎資料とするとともに、今後の男女共同参画行政に反映させていくことを目的に実施しました。

最後に、調査にご協力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、この報告書が男女共同参画社会を進める上で、多くの方にご活用いただければ幸いです。

令和5年12月

川越市長 川合善明



# 目 次

I. 調査概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査設計	3
3. 調査内容	3
4. 回収結果	3
5. 表記と集計	4
6. 標本誤差	4
II. 回答者の属性	5
III. 調査の結果	11
1. 男女平等に関する意識について	13
1-1 分野別男女平等感	13
1-2 性別役割分担	20
1-3 性別役割分担を肯定する理由	23
2. 家庭生活（家事・子育て・介護）について	25
2-1 家庭生活での役割分担	25
2-2 家庭生活の優先度	34
2-3 男性が育児・介護休業を取得することについての考え	37
2-4 男性が育児・介護休業を取得しない方がよいと思う理由	40
3. 仕事について	41
3-1 勤務先の女性の労働環境	41
3-2 女性の働き方の理想と現実	43
3-3 女性が職業を持ち続けるために必要なこと	46
3-4 男女が仕事と家庭の両立をするための条件	47
4. 人権・暴力について	48
4-1 ハラスメント被害の経験について	48
4-2 メディアにおける表現	50
4-3 自身の性についての悩み	51
4-4 自身の性についての悩みの相談先	54
4-5 性的マイノリティの人たちが暮らしやすい社会にするために必要な取組	55
4-6 配偶者等からの暴力の被害経験	57

4-7	配偶者等からの暴力に関する相談経験	60
4-8	配偶者等からの暴力についての相談先	62
4-9	配偶者等からの暴力について相談しなかった理由	63
4-10	配偶者等からの暴力の相談機関の認知状況	64
4-11	配偶者等からの暴力に対する対策や援助	67
<b>5.</b>	<b>男女の社会参画について</b>	<b>68</b>
5-1	女性の政治・行政への参画が少ない理由	68
5-2	地域活動への参加経験の有無	69
5-3	参加経験のある活動	71
5-4	防災分野における男女共同参画推進のために必要なこと	75
<b>6.</b>	<b>男女共同参画を推進するための取組について</b>	<b>77</b>
6-1	男女共同参画に関する言葉の認知状況	77
6-2	男女共同参画推進のために市が力を入れるべきこと	85
6-3	男女共同参画推進施設の利用経験の有無	87
6-4	男女共同参画推進施設に期待すること	89
<b>IV.</b>	<b>自由回答</b>	<b>91</b>
<b>V.</b>	<b>調査票</b>	<b>119</b>